



七つ星

校訓 「志高く」



学校評価(前期) 2

校長 前田 倍成

【学校評議員評価】 ※表内の数値は人数

アンケート項目	R 3		R 2	
	A	B	A	B
①学校の教育方針や情報などが、学校報等で保護者(地域)に分かりやすく伝えられている。	2	1	0	3
②学校生活において、児童は生き生きと活動している。	2	1	1	1
③教職員は、お互いに協力しながら児童の指導をしている。また来校者に誠実な対応をしている。	2	1	2	0
④学校内外の環境整備が行き届いており、児童が快適で安全に学校生活が送れるようになっている。	3	0	2	1
⑤児童が学習内容を理解しようと意欲を持って学んでいる様子が見られる。	2	1	1	1
⑥児童が学習内容を理解できるような分かりやすい授業である。	2	1	1	2

アンケート項目	R 3		R 2	
	A	B	A	B
⑦児童は、集団生活に必要なきまりや約束を守っている。	1	2	1	1
⑧教職員は、児童の手本となる言動を行っている。	1	2	1	1
⑨教職員は、保護者や地域の方と連携し、関わり合っている。	1	2	0	1
⑩学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用している。	0	B 2 C 1	0	3
⑪基礎学力の定着と向上に向け、具体的取組や指導法改善が行われている。	2	1	2	0
⑫児童相互の学び合いのある授業が推進されている	1	2	1	1

【教職員自己評価】 ※表内の数値は%

アンケート項目	R 3			
	A	B	C	D
①学校の教育方針や情報などを学校報等で保護者(地域)に分かりやすく伝えている。	58	42	0	0
②学校生活において、児童は互いに協力し合っている。	16	81	3	0
③教職員は、互いに協力しながら児童の指導にあたっている。	48	48	6	0
④教職員は休み時間や掃除時間等に適切に声をかけ、児童は素直に受け入れている。	19	74	3	0
⑤学校内外の環境整備が行き届いており、児童が快適で安全に学校生活が送れるようになっている。	26	68	6	0
⑥児童が学習内容を理解しようと意欲を持ち学んでいる。	13	81	6	0
⑦児童が内容を理解できる分かり易い授業に努めている。	10	68	19	0

アンケート項目	R 3			
	A	B	C	D
⑧児童は集団生活に必要なきまり・約束を守っている。	6	84	10	0
⑨教職員は、児童の手本となる言動を行っている。	23	77	0	0
⑩教職員と児童は互いに生き生きと活動している。	26	74	0	0
⑪教職員は保護者や地域の方と連携している。	3	55	39	0
⑫保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している。	19	68	13	0
⑬学校は、地域人材、施設、歴史・自然等を教育活動に活用している。	13	52	32	0
⑭数値目標の達成に向け、具体的取組や指導法の改善が行われている。	26	71	0	0
⑮児童相互の学び合いのある授業が推進されている。	6	68	19	0

学校評議員評価では、概ね良好な評価をいただけたのではないかと考えます。⑨、⑩の項目については、教職員自己評価⑪、⑬でも同様な傾向が見られるように、コロナ感染状況の影響が大きいとはいえ、今後は知恵と工夫を凝らして取組を進めることが必要です。

子どもたちの学びは、机上だけで完結するものではありません。地域の中で実際に、自分の目で確かめたり、体験してみたりする中でこそ、自分が学んでいることと社会や自然とのつながりに気づき、さらに深まっていくものです。より充実した学習活動が展開できるよう進めてまいります。

前号（保護者アンケート）と併せ、これで前期学校関係者評価についてその結果をお知らせすることができました。今年度も運動会が目前に迫り、子どもたちも張り切って頑張る姿を見せてくれています。是非、保護者のみなさま、地域の方々には今後も変わらずご理解、ご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。

— 受賞おめでとうございます —

【志賀町読書感想文コンクール】

特 選（※郡市審査へ出品）

2年	自由読書部門	林 篤輝	ぼくのひみつの気もち
	課題読書部門	石田 一真	どこからきたの？おべんとう
		山口 響斗	「そのときがくるくる」を読んで
3年	課題読書部門	山崎 佑介	カラスの言い分を聞いて学んだこと
		畑中 奏佑	カラスにたいする気持ちのへんか
4年	自由読書部門	林 大輝	あみちゃんのすてきな笑顔
6年	自由読書部門	酒井 真宙	子ども食堂が教えてくれたこと
		南 友理	赤毛のアン
	課題読書部門	田中 真依	自分を変える言葉

入 選

1年	自由読書部門	室坂 勇樹	「かいじゅうくん」をよんで
		福田 晴弥	「夏とおとうと」をよんで
	課題読書部門	加藤 元輝	「そのときがくるくる」をよんで
		唐木 ひより	「あなふさぎのジグモンタ」をよんで
		神尾 明歩	「どこからきたのおべんとう」をよんで
2年	自由読書部門	八野 桜和	「はこぶ」を読んで
		田中 悠翔	「ながーい5ふん みじかい5ふん」を読んで
		舟山 旬	「かんけり」を読んで
3年	自由読書部門	後藤 那菜子	メガネをかけたら
	課題読書部門	田中 奏太	カラスの知え
		藤勝 愛梨	ゆりの木荘の子どもたち
		金子 和正	カラスのいいぶん
4年	自由読書部門	脇本 航希	なんで勉強しなきゃいけないの？
		的場 翔大	「ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く」を読んで
		吉野 蘭	車いすからこんにちは
5年	自由読書部門	木村 明依	「成長する」ってどういうこと？
		山瑞 ゆや	夫婦の村の大イチョウ
		高野 颯	「世界の平和を願う」
6年	自由読書部門	吉野 蓮之介	WONDERを読んで
		萩沢 奏汰	「僕は上手にしゃべれない」
	課題読書部門	藤田 菜心	オランウータンと人間の明るい未来